

みちのく森の楽校だより



2017年

7月号



ヤブカンゾウ



ヤマユリ

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

2017年7月22日発行

7月22日(土) 晴れ後雨、後晴れ 木工!

朝からムシムシと暑い日になりました。森の中に入ると少し涼しいですね。午前中は火炊きや食事の支度、木工をしているメンバーもいました。お昼から空模様が怪しくなってきたので、小野分校へ移動! その途中で土砂降りの雨になってしまいました。午後は小野分校で木工体験をしました。

夏野菜収穫! 真夏のピザ! カキ氷!

まずは畑で夏野菜の収穫です。ナス、キュウリ、ミニトマトができていました。

近所の農家の方から枝豆をどっさりいただいたので、鞘取りも大事な食体験です。



大きな体験として、マッチで火炊きをしました。マッチを知らない子供ばかり、ましてや使ったことなどある訳がなく…

里山ボランティアに教えてもらいながら、恐る恐る火をつけました。



生地



真夏のピザ! 気温が高いため、生地が発酵しすぎて大きく膨らんでいます。伸ばしにくいです。

トッピングは収穫した野菜を中心に、いろいろです。暑くて焼くのは一苦労。シャツが搾れるほどの汗をかきました。



クワの実ジャム

夏の楽しみのデザートは、かき氷です。シャリシャリかいて、里山独自のトッピングは、公園で収穫して里山ボランティアが作った、クワの実ジャム、ウメの実ジャムにウメサワーです。

木工体験！

一転、雲が厚くなり、午後から土砂降りの雨！急いで小野分校に駆け込みました。という訳で予定変更で、午後の木工体験は小野分校で行いました。

里山ボランティアが挽いておいた杉の板を使って、椅子や本棚などの小さな家具作りにチャレンジ！



椅子を作りました



椅子の材料です



椅子を作りました



本箱を作りました



竹のコースター

新しい「里山冒険遊び」として、竹のコースターがお目見えしましたよ！コースターと言っても、コップ置きではありません。このコースターは「滑走用のそり」のこと。里山ボランティアが工夫して作った遊び場です。

斜面に竹を2本渡して、板で作ったソリで滑ります。子供たちに大人気で、「もっと長く、もっとスピードが出るように」お願いされました。

